株式会社 DZHフィナンシャルリサーチ
東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー32 階

週間展望・回顧（豪ドル、南ア・ランド）

September 15, 2017

RBA 議事録に注目、南アは利下げか

◆豪雇用は好調、RBA 議事録に注目が集まる
◆北朝鮮リスクは依然残り、挑発行為に要警戒
◆南ア準備銀行は 0.25%利下げ予想が有力

予想レンジ
豪ドル円　85.50-91.50 円
南ア・ランド円　7.90-8.60 円

9 月 18 日週の展望

豪ドル円は底堅く推移するか。豪 8 月雇用統計は市場予想を上回っており、非常に堅調だった。一方、中国の 8 月小売売上高は前年比+10.1%と市場予想の+10.5%より下振れし、鉱工業生産も前年比+6.0%と市場予想の+6.6%を下回った。中国経済の停滞感はあるが、豪州の経済指標を見る限り、豪ドルを大きく売り込むのは難しい状況になっている。

来週は豪州から 19 日に豪準備銀行（RBA）金融政策決定理事会議事録と 4-6 月期住宅価格指数が発表される。この中で注目が集まるのは議事録であろう。9 月 5 日の RBA 理事会後に公表された声明文では、豪ドル高は経済成長を鈍化させると通貨高に懸念が表明された。しかし、今後数年に渡り、経済成長は緩やかに回復するだろうと経済の見通しについてはポジティブな内容となり、声明文発表後に豪ドルは底堅く推移した。議事録が通貨高に対して声明文より強く懸念しない限り、下値は限定的になりそうだ。一方、豪州以外では依然として北朝鮮リスクがある。制裁の内容は弱くなったものの北朝鮮にとっては痛手で、挑発行為を激化させるかどうか不透明だ。

南ア・ランド（ZAR）円の上値は限定的か。11 日にギガバ財務相は今年の経済成長は政府目標の 1.3%に届かないとの見方を示した。財務相と中銀は護民官から中銀の使命を経済成長促進に変更するよう求められていることを考えると、成長率を上げるために大幅な刺激策を発表することもあるか。この状況下で、21 日には南ア準備銀行（SARB）の政策決定会合が開かれる。市場予想は 6.75%の据え置きから 6.25%への 0.5%引き下げまで分かれているが、現時点では 6.5%への 0.25%引き下げが有力となっている。ZAR は依然、高金利通貨ではあるが、今後も経済成長のために景気刺激策を続けていくことで政策金利はじりじりと低下していくのではないか。20 日に 8 月消費者物価指数が発表されることにも注意が必要だ。

9 月 11 日の回顧

北朝鮮が建国記念日に挑発行為を起こさなかったこと、国連の制裁決議案が当初米国が主張していたものよりも緩やかな内容に変更されたことで、リスクオフが弱まりドル円の買い戻しとともに豪ドル円も上昇した。14 日に発表された 8 月の豪雇用統計は就業者数が+5 万 4200 人と上振れ、8 月常勤雇用者数が+4 万 100 人と常勤雇用主導で労働市場の勢いが強まった。非常勤雇用者数も 1 万 4100 人の増加と豪準備銀行（RBA）が前回の理事会の声明文で公表したように雇用情勢は堅調だった。雇用の堅調さが豪ドルの買い支えの材料になった。

ZAR は対円では豪ドル円同様にドル円の上昇に連動して一時 8.51 円まで上昇した。しかし格付け機関ムーディーズが「南アフリカの格付けでは、SARB の使命変更への圧力が主要なリスク」と警告したことで上昇分を大幅に削った。7 月の小売売上高は市場予想の+2.8%よりも弱い+1.8%だったことも ZAR の重しになった。（了）

本レポートはお客様への情報提供のみを目的として作成したもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。実際に投資をなさる場合の最終ご判断は、お客様ご自身でご判断なさるようお願い致します。本レポートを原因とするお客様の直接あるいは間接的損失および損害については一切補償には応じません。 Copyright DZH Financial Research, Inc.